



2017年6月12日

各 位

会 社 名 富士フイルムホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 助野 健児
(コ ー ド 番 号 : 4 9 0 1 東 証 第 一 部)
問 合 せ 先 経営企画部
コーポレートコミュニケーション室長
吉澤 ちさと
(TEL : 03-6271-1111)

当社連結子会社に関する不適切な会計処理による影響額に関するお知らせ

当社2017年6月9日付「第三者委員会の報告書受領日 及び2017年3月期決算発表日に関するお知らせ」のとおり、当社は、第三者委員会より調査結果を記載した報告書を2017年6月10日に受領いたしました。

当該報告書によると、第三者委員会による調査において、当社の連結子会社である富士ゼロックス株式会社の海外販売子会社Fuji Xerox New Zealand Limited(以下「FXNZ」といいます。)に加えて、オーストラリアの販売子会社Fuji Xerox Australia Pty. Limitedにおいても、FXNZと同様の不適切な会計処理が行われていたことが判明いたしました。

その結果、当社連結子会社に関する不適切な会計処理が、過去数年間にわたる当社連結ベースの「当期純利益」に与える累計影響金額は、当社2017年4月20日付「第三者委員会設置及び2017年3月期決算発表の延期に関するお知らせ」において開示していた約220億円(損失)から375億円(損失)となりました。また、「当社株主帰属当期純利益」に与える累計影響金額は、281億円(損失)となります。

なお、本件につきましては、本日15時に適時開示予定の「第三者委員会調査報告書の受領及び今後の対応に関するお知らせ」において、詳細をご報告いたします。

株主・投資家の皆様をはじめ関係各位におかれましては、ご迷惑とご心配をお掛けしておりますこと深くお詫び申し上げます。

以 上